

旧石器ハテナ館だより

# 尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館  
(史跡田名向原遺跡  
旧石器時代学習館)  
神奈川県相模原市中央区  
田名塩田 3-23-11  
042 777 6371  
平成 27 年 6 月 15 日  
【第 27 号】

## ～境川周辺の魅力に触れた2つのイベント～

5月30日(土)開催

### 講座「境川上流域の遺跡と歴史」



申込みが始まってすぐ定員の半数を超え、境川周辺地域に対する皆さんの関心の高さがうかがえました。講師の文化財保護課の土井永好さんは、大学時代、まさにこの場所から発掘調査に携わることになったそうで、随所に思い出話が織り交ぜられていました。講座は、相模原台地や多摩丘陵の出来方から始まりましたが、多摩丘陵を「やんちゃな時代もあった兄貴分」と評したり、境川の前身を「湧水を集めて速<sup>たかくら</sup>高座川」と芭蕉の名句になぞらえ表現したりと、ユーモアに溢れていました。翌週の遺跡ウォーキングで訪れる場所以外にも、多摩ニュータウン遺跡や上矢部の土塁、古淵 B 遺跡、中村遺跡、忠生遺跡群、木曾中学校遺跡などが紹介され、境川周辺地域の魅力を再認識した一日でした。

土井氏を囲み昼休憩



### 文化財探訪「遺跡ウォーキング」境川上流域を訪ねる

6月6日(土)開催

高低差のある9キロのコースにも関わらず、申込み多数で最後はお断りしなければならないほどの人気ぶりでした。案内人は、講座に引き続き文化財保護課の土井さんです。前日は雨となり、お天気が心配されましたが、スタート時には青空も見えるほどに回復し、心地よい風の中、文化財探訪がスタートしました。

相原駅を出た後、線路沿いに北へ進み、10分程でかわらけ谷戸に至りました。ここは古代の窯跡です。そこから丸山団地の急こう配を上り、相模原台地の見渡せる高台に移動して地形を確認しました。諏訪神社を経て、スタート地点の相原駅の南側を通り、堺市民センターで休憩した際には、土井氏より青木家分家筋の青木純造氏の相模原考古学史への貢献について説明がありました。青木家住宅の前を通り、境川を渡って相模原の元橋本遺跡(現在は公園)や八王子バイパス陸橋で当時の発掘の様子を聞きました。続く瑞光寺では、明治5年の学制発布による小山・橋本地区の小学校発祥の歴史を学びました。途中、酒まんじゅうを買い、牛久保家の立派な長屋を眺め、再び境川を渡って町田市側へと移動しました。久保ヶ谷戸トンネルを抜け、横穴墓のある三ツ目山公園で待ちに待ったお弁当タイムです。午後は田端環状積石遺跡、連乗院などを訪ね2時頃には解散となりました。長い道のりが短く感じられるような楽しく充実した遺跡ウォーキングでした。土井氏の熱のこもった解説に聞き入る参加者



## 定例体験教室

4月19日(日)開催



# 黒曜石で石器作り



今年度最初の体験教室は、「黒曜石で石器作り」でした。21名の参加者の中には、子どもから大人まで、あらゆる年齢層の方々が含まれていました。

最初に学習指導員から黒曜石の特色を学んだ後、皆で展示室へ移動し、実際に田名向原遺跡から発掘された尖頭器などを観察しました。自分が作りたい石器の形をイメージするためです。再び実習室に戻り、石の割り方や注意点などの説明を受け、いよいよ石器作りの始まりです。

鹿角のハンマーで叩いても、なかなか石は割れません。顔を真っ赤にして、しびれる手を我慢しながら頑張っている子どもたちの姿が印象的でした。偶然割れて出来た石の破片を利用して見事なナイフ形石器や尖頭器を作った子どもたちには、感心しました。紙で試すと、どれも見事な切れ味です。大変な思いをして作った石器は大切な宝物となったようです。今年度も、毎月第3日曜日の体験教室で皆さんとお目にかかれることを楽しみにしています。年間予定などは、市のHPや広報でご確認下さい。



石器の切れ味を試しています

## 楽しい夏のイベント情報

- 7月 19日(日) 体験教室「弓矢作り」
- 20日(祝) 夜の昆虫観察会
- 25日(土) 八瀬川探検と魚観察

お友達を誘って遊びに来てね！  
待ってるよ！！



8月 16日(日) 体験教室「<sup>まがたま</sup>勾玉作り」

- 9月 19日(土) 講演会「(仮)三ヶ木遺跡の弥生土器」
- 20日(日) 体験教室「土器作り」
- 26日(土) 加曾利貝塚バスツアー

### よろしくお願ひします！

(平成27年度着任の学習指導員です。)

川村 元海 (かわむら もとみ)

静岡県焼津市から京都・横浜と渡り歩き、このたび相模原に来ました。まだまだ知らないことがたくさんあるので、皆さんと一緒に、相模原について学んでいこうと思います。

干川 明子 (ほしかわ あきこ)

中学時代は「地歴部」に所属し、地元群馬の古墳や史跡を訪ねていました。縁あって訪れた相模原の地で、皆さんと一緒に、郷土の歴史を学んで行きたいと思っています。